

災害への備え

いざというときに自分自身や大切な人を守るのは、たったひとつの対策、
たったひとつの知識、たったひとつの道具かもしれません。
小さな備えが、大きな助けになります。大災害が起きてから後悔しないように、
日頃から災害に備えておくことが大切です。

こんなことにならないように

地震発生時、あなたは自宅内の自室で寝ていました。
突然大きな揺れが起きて気が付くと…。



出典：神戸市 阪神・淡路大震災「1.17の記録」

「暗い…狭い…痛い…」
家具が転倒し、足を挟まれてしまったようで、全く身動きが取れない…。
他の部屋にいるはずの家族に呼びかけても何の反応もない。もしかしたら意識を失い
倒れているんじゃないか。
こんなことなら、普段から地震の備えをしっかりとっておけばよかった…。

被害を軽減するポイント

災害が発生してからでは遅い 日頃の備えが大切！

災害とのたたかいは、災害が実際に起こる前から始まっています。
いざというときに、「助けられるのを待つ側」になるか、自らの安全を確保して「助ける側」になる
のか、日頃の備え次第で状況が変わります。災害発生時に、「助ける側」の人数をより多くするこ
とで、被害を最小限に食い止めることができます。